

第35回 正調最上川舟唄全国大会出場者募集

審査体制

審査委員長：(公財)日本民謡協会より…1名
 審査員：正調最上川舟唄保存会副会長
 審査員：正調最上川舟唄保存会専門委員…2名
 町民審査員：各区…1名

審査基準

正調最上川舟唄、すなわち後藤翁の唄い方を原形とし、その一節一節の意とするところの理解と表現の技量を競うものとします。正調最上川舟唄保存会で販売しているCD(大会事務局で販売しております。大会事務局にお問い合わせください。)及び楽譜を参考にしてください。

- ① 掛け声は3人以内、伴奏は尺八のみとし、2人以内とします。
 - ② 原形より著しく逸脱したもの、アレンジ風ものは減点の対象とします。
 - ③ 歌詞の間違いや唄わなかった場合は減点の対象とします。
 - ④ 各部門の競技内容は以下のとおりです。
 - 一般の部予選：1番のみ(審査方法：予選のなかから決勝進出者10名を選出します。)
 - 一般の部決勝：1・2番もしくは1・3番(審査方法：1～10位の順位をつけます。)
 - シニアの部：1番のみ(審査方法：1～5位の順位をつけます。)
 - ジュニアの部：1番のみ(うまいと感じた審査員が半分を超えた場合優秀賞、そうでない場合奨励賞)
- ※掛け声と本唄どちらも唄うものとします。

表彰

一般の部

優勝	賞金10万円	優勝旗	賞状	副賞
準優勝	賞金5万円	トロフィー	賞状	副賞
第3位	賞金3万円	トロフィー	賞状	副賞
第4～10位		楯	賞状	副賞

シニアの部

優勝	賞金3万円	トロフィー	賞状	副賞
準優勝～3位	賞状	トロフィー	副賞	
第4・5位	賞状	楯	副賞	

ジュニアの部

優秀賞	賞状	副賞		
奨励賞	賞状	副賞		

出場資格

- ◆一般の部
高校生以上とする。
(但し、歴代一般の部優勝者は除く)
- ◆シニアの部
大会当日、満70歳以上とする。
(但し、歴代一般の部優勝者及びシニアの歴代優勝者は除く)
- ◆ジュニアの部
中学生まで。



正調最上川舟唄とは…

世界三大舟唄のひとつと称賛される最上川舟唄は、大江町の民謡家故後藤岩太郎氏と郷土研究家故渡辺国俊氏によって10有余年の歳月を費やしてつくられ、今では山形県の民謡であるばかりでなく日本を代表する民謡のひとつとなっています。この最上川舟唄を正しく継承し普及を図るため正調最上川舟唄全国大会を毎年開催しており、全国各地から集まった舟唄の達人たちが自慢のどを競い合います。また、最上川舟唄をモチーフにしたさまざまなアトラクションを盛り込んだ見応えのある民謡大会となっておりますので、ぜひご来場ください。



第35回 正調最上川舟唄全国大会 出場申込書

申込期限 平成30年5月17日必着

大会参加料 1,500円を添えて下記により申込みいたします。

平成 年 月 日

記

ふりがな 氏名 (印)

生年月日 性別

明・大・昭・平 年 月 日 満 歳 男・女

〒 住 所

電話番号又は携帯番号 () -

職 業

本大会への出場回数 回目・今回が初出場 ※10回・20回・30回 出場者は表彰いたします。

出場希望部門 一般の部 (高校生以上)
 シニアの部 (大会当日、満70歳以上。歴代一般の部優勝者及びシニアの歴代優勝者は除く)
 ジュニアの部 (中学生まで)

伴奏者同伴の有無 有(自分で準備)・無(大会専属伴奏者)
 ※大会専属伴奏者は尺八のみで、掛け声はなるべく自分で準備してください。 →尺八寸法

弁当の注文 必要 (個×1,000円= 円) ・ 不要

振込先 さがえ西村山農業協同組合大江支所 普通4365632
 正調最上川舟唄全国大会

※出場料等は、現金またはお振込み(振込手数料はご本人負担となります)でお願いします。お申込み後、都合により出場を辞退する場合は、出場料の返金はいたしませんのでご了承ください。
 ※本大会での映像、写真、記録等のテレビ、新聞、インターネット等への掲載権は主催者側に属します。また大会中の写真を翌年以降の要項、プログラム等に掲載する場合があります。
 個人情報主催者側が管理し、当大会運営等必要な場合のみ使用させていただきます。